

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 4~5

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞	
〈導入〉 「小さな世界」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 曲の気分を感じ取って歌う。
 【知-①】「小さな世界」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。
 【主-①】「小さな世界」の歌詞の持つメッセージを、歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2. 前半と後半の曲想の違いを生かして歌う。
 【思-①】「小さな世界」の旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3. 前半と後半を重ねて二部合唱する。
 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 6

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 「アラム サム サム」 (毎時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 拍を感じながら歌う。 【知-①】 「アラム サム サム」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 2. リズムを打ちながら歌う。 3. 口形、表情を意識して言葉が伝わるように歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。 4. 音程や声の出し方を意識させたり、友達と声を合わせる楽しさを感じ取ったりするために、ゆっくり・速く・だんだん速く・だんだんゆっくりなど、速度を変えて歌う。 【主-①】 旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 5. 互いに聴き合い、輪唱を楽しむ。 【思-①】 「アラム サム サム」の旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 7

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈スキルアップ〉 〈リズムなかま〉で楽しもう！ (毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。			○	
	思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
(3) リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 五つのリズム・パターンを一つずつ打って、確認する。 【知-①】 リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどに関わらせながら気付いている。</p> <p>2. 自分が打ちたいリズム・パターンを一つ選んで活動する。 【主-①】 リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 遊び方を変化させて活動する。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。 【思-①】 リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 8~9

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 曲の気分を感じ取る。 【知-①】「春の小川」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。</p> <p>2. 歌詞の内容にふさわしい表現を工夫して歌う。 【主-①】「春の小川」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>3. 歌声や発音に気を付けて歌う。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>4. 旋律の反復や変化を捉え、表現を工夫して歌詞で歌う。 【思-①】「春の小川」の旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 10 ~13

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
1 楽ふとドレミ (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音階や鍵盤楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けるとともに、ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しむ。	キラキラおひさま	○〈楽ふのお話〉のページで、音符や記号、五線などについて知り、「キラキラおひさま」を階名唱する。 ○「キラキラおひさま」を輪唱・輪奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。 【主-①】 ハ長調の音階で表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と音階や歌詞との関わりに気付くとともに、音の重なりや音階が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ドレミの歌	○「ドレミの歌」の主旋律を歌詞で歌う。 ○「ドレミの歌」を二部合唱する。	【知-①】 「ドレミの歌」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【思-①】 「ドレミの歌」の音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 14~17

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材) (2時間扱い・5月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 曲の気分を感じ取る。
2. 歌詞を理解して歌う。
【主-①】「茶つみ」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3. 旋律の特徴に気付き、拍にのって歌う。
【知-①】「茶つみ」の曲想と、旋律やリズムなどの音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。
【思-①】「茶つみ」の旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
4. 友達と手合わせしながら歌う。
【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 18～25

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈こんにはリコーダー〉 (3時間+毎時・5～6月)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○	○	
	(3) リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりしている。		○		○

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. どんな音がするのかな
【思-①】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いている。
2. さあ、ふいてみよう！ いい音出せるかな。～シの音でお話しよう
【主-①】 リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
【知-①】 リコーダーの音色と「シシシでおはなシ」の演奏の仕方との関わりに気付いている。
3. シとラの音で 曲をふこう～シラソの音で 遊ぼう
【思-②】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 26～27

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
2 ひびきのある歌声 (2時間扱い・7月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けるとともに、旋律、音色、変化などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	この山光る ◎ホルディリディア	○「この山光る」を、ふさわしい歌声を探して歌う。 ○「ホルディリディア」を、高音を歌う声に注目して聴く。 ○「この山光る」の旋律の特徴について考え、生かして歌う。	【知-①】「この山光る」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主-①】旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】「この山光る」の旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 28~29

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしょう (2時間扱い・7月)	(1) いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能や、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能や、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。				○		
	(2) 声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
(3) いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. いろいろな声の「ヤッホー」を見つける。 【主-①】 いろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなど関わらせて気付いている。</p> <p>2. 音楽の仕組みを生かして、まとまりを意識した音楽をつくる。 【思-①】 声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。 【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能や、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 30~31

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」(共通教材) (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 曲の気分を感じ取って歌う。
【知-①】 「うさぎ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。
2. 歌詞の内容を理解する。
【主-①】 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3. 情景を思い浮かべたり、曲想を感じ取ったりして、ふさわしい声や歌い方で歌う。
【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。
【思-①】 「うさぎ」の旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 32～33

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽き名人〉 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」 (毎時扱い・9月～)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	知識・技能	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○		
	(2) 音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
(3) 旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○			

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>「かえり道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範奏を聴いて旋律を覚えたり、階名唱したりする。 ・まっすぐな息でゆったりと演奏する。 <p>【知-①】 リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付いている。</p> <p>「ラドレでリレー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラドレの3音を、いろいろな音の順番で4分音符のリズムで吹いてつなげる。 <p>【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。</p> <p>【主-①】 旋律の感じを生かしてリコーダーで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>「レッツゴー ソーレー」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主旋律を演奏する。 2. 速さの違う伴奏に合わせて演奏する。 <p>【思-①】 音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 二重奏する。 <p>【技-②】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能を身に付けている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 34~37

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
3 せんりつと音色 (3時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	主体的に学習に取り組み態度	旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。				○

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、旋律や音色との関わりに気付くとともに、楽器の音色、旋律の反復と変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ユモレスク ◎白鳥	○「ユモレスク」の旋律の変化や再現に気を付けて、体を動かしながら聴く。 ○「ユモレスク」の曲全体を味わって聴く。 ○「白鳥」を全曲通して体を動かしながら聴く。 ○「白鳥」の曲全体を味わって聴く。	【主-①】 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。 【思-①】 バイオリンの音色、「ユモレスク」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【知-①】 「白鳥」の曲想と旋律やチェロの音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-②】 チェロの音色、「白鳥」の旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 38～39

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
4 曲に合った歌い方 (2時間扱い・11～12月)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。		○	○			
	(2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、5音をもとにした旋律や輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想とフレーズや、歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能や、楽器を演奏する技能を身に付ける。	森の子もり歌	○「森の子もり歌」の曲想を感じ取り、旋律の特徴を捉え、歌詞の表す情景を思い浮かべて歌う。 ○「森の子もり歌」を合唱奏する。	【知-①】「森の子もり歌」の曲想と、フレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 40～43

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材) (2時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。		○				
	(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○				

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 曲を捉え、歌詞を理解して歌う。
【主-①】 「ふじ山」の歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2. 旋律の特徴に気付いて歌う。
【知-①】 「ふじ山」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。
【思-①】 「ふじ山」の旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3. 声の出し方を工夫する。
【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 44～49

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞	
5 日本と世界の音楽 (7時間扱い・10月)	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
(3) 日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○	

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
4	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、旋律やリズム、拍、速度などが生み出すよさや面白さを感じ取り、曲のよさを見いだして聴く。	◎日本や世界の子ども の歌 十五夜さんのもちつき 陽気なかじや	○「十五夜さんのもちつき」と「キパパーキ パンパ」を聴き、「十五夜さんのもちつき」を手合わせして遊ぶ。 ○「あつい豆がゆ」「半月」「陽気なかじや」を聴き、それぞれの違いを感じ取る。 ○「陽気なかじや」を手合わせして遊ぶ。 ○「日本や世界の子ども」の歌を聴き、それぞれの曲の共通点や違いを感じ取る。	【知-①】「十五夜さんのもちつき」の曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付けている。 【思-①】「陽気なかじや」や他の曲の旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。
3	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。	メロンの気持ち	○「メロンの気持ち」を聴き、この曲に呼びかけとこたえや、音の重なりなどの仕組みがあることを知る。 ○伴奏に合わせて歌ったり、旋律楽器や打楽器を演奏したりして、合の手や音の重なりのある演奏をする。	【知-②】曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技-②】思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したりする技能を身に付けている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 50～51

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 ばんそうに合わせてせんりつをつくる「雪のおどり」 (2時間・12月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付いている。			○	
	(2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、(どのように歌うか)どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、(輪唱や)6音をもとにした旋律づくりに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
1. 「雪のおどり」を、言葉の響きや反復の面白さを感じながら輪唱する。 【知-①】曲想と旋律など音楽の構造との関わり気付いている。 2. 「雪のおどり」を伴奏と合わせて輪唱する。 【主-①】「雪のおどり」の曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。 3. レミファソラレの音をもとに旋律を演奏する。 【技-①】発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。 【思-①】「雪のおどり」の音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 52～53

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
6 パートの役わり (3時間扱い・1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		○
(3) 曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、アメリカ民謡や合唱奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	曲想と声部の役割などとの関わりに気付くとともに、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	せいじゃの行進 ◎せいじゃの行進	○鑑賞曲「せいじゃの行進」を体を動かしながら、楽器の音やリズムに注意して聴く。 ○「せいじゃの行進」の主旋律と副旋律のパートを楽器で演奏する。 ○「せいじゃの行進」を、パートの関わり合いや役割に気付いて合奏する。	【主-①】 鑑賞曲「せいじゃの行進」の曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 「せいじゃの行進」の呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知-①】 「せいじゃの行進」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 54～55

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈めざせ 楽き名人〉 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」 (毎時扱い)	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能		○		
	(2) 音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現		○		
	(3) リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーや二重奏・二部合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度		○		

○=本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>「あくびのうた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱奏を聴いて旋律を覚え、歌詞で歌ったり3・4段めを階名唱したりする。 ・歌とリコーダーに分かれ、リコーダーはあくびをイメージして演奏する。 <p>【知-①】 リコーダーの音色と「あくびのうた」の演奏の仕方との関わりに気付いている。</p> <p>「冬さん、さようなら」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範奏を聴いて旋律を覚え、主旋律(上声部)をドレミ(音名)で歌う。 ・かけ合いや重なりを感じ取り、聴き合いながら二重奏する。 <p>【思-①】 音色、旋律、呼びかけとこたえ、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p> <p>【主-①】 リコーダーの響きや声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 56～57

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
7 音楽のききどころ (3時間扱い・2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

扱い時数のめやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	音色、旋律、反復、変化などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎組曲「アルルの女」から	○「アルルの女」から「メヌエット」を、楽器の音色や関わり合い、旋律の変化に気付いて聴く。 ○「メヌエット」のよいところを捉えて聴く。 ○「ファランドール」のよいところを捉え、曲全体を味わって聴く。	【主-①】 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知-①】 「メヌエット」の曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思-①】 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 58～59

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽 づくり	鑑賞
8 思いに合った表げん (3時間扱い・2～3月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
(3) 声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態度	声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○			

○=本評価規準例における中心的な項目

扱い時数の めやす	ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	旋律やリズム、音の重なりなどが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かしながら音楽活動を楽しむ。	パフ	○「パフ」を情景や気持ちを想像しながら歌う。 ○グループに分かれ、担当するパートを決めて練習する。 ○グループごとに発表し、聴き合う。 ○グループごとにリレー演奏する。	【知-①】「パフ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 「パフ」の旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【主-①】 声部の役割を意識して「パフ」を演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 60～61

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽しもう (2時間扱い・3月)	(1) 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。				○		
	(2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
(3) 音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。			○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】

1. 打楽器を材質ごとに仲間分けする。
2. 自分が選んだ打楽器でどんな音が出るのかを確かめる。
【知-①】 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。
3. カードを選んで音で表現する。
【思-①】 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。
4. 同じ材質で集まったグループで音をつないで演奏する。また、一人だけ、別の材質のグループと奏者を入れ替え、違いを感じ取る。
【技-①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
【主-①】 音の響きや組合せを生かして表現することに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。
5. 音楽の構成や重ねるなどの音楽の仕組みを考えながら、まとまりのある音楽をつくる。

令和6年度版『小学音楽 おんがくのおくりもの 3』評価計画(案)

3年 p. 62～63

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」 (2時間扱い・随時)	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 物語を音楽が表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	物語を音楽が表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

学習の流れ／【学習活動に即した評価規準例】
<p>1. 教科書の挿絵で登場人物と楽器を確認しながら全体を聴き、気付いたことを交流する。 【主-①】 物語を音楽で表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>2. 各キャラクターと結びつけながら、各楽器についてももう一度確認する。</p> <p>3. 物語のあらすじをふまえ、場面の様子を想像しながら聴く。物語を表すために、どのような工夫があったか気付いたことを交流する。 【知-①】 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。</p> <p>4. 登場する人物や動物を表す音楽の特徴や楽器の音色に気を付けて聴いたり、場面の移り変わりによる曲想の変化に気付いたりして聴き、気付いたことを交流する。 【思-①】 音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>